

中小企業景況調査（令和4年7月～令和4年9月）の報告

【調査概要】

- ・調査対象：玖珠町商工会管内 40 事業所
- ・調査方法：経営指導員によるヒアリング調査

【業種別内訳】

業種	製造業	建設業	卸小売業	サービス業	飲食業	合計
事業所数	5	6	10	11	8	40

【項目別景況判断】

①今期の状況（対前年同期比）

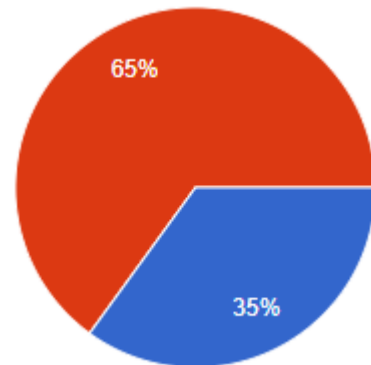
項目	売上高	客数・受注数	従業員数	採算	業況
景況判断	➡	➡	➡	➡	➡
D I 値	▲44%	▲46%	▲44%	▲40%	▲40%

※D I 値とは 良いと答えた企業の割合から、悪いと答えた企業の割合を引いて計算した値を示す

②来期（10～12月期）設備投資計画があるか

設備投資計画あり・・・14者（35%）

設備投資計画なし・・・26者（75%）



③経営上の問題点における重要度（令和4年7～9月期）

	選択肢 1 位	選択肢 2 位	選択肢 3 位
重要度 1 位	原材料（仕入商品）価格の上昇	従業員の確保難	民間需要の停滞
重要度 2 位	原材料（仕入商品）価格の上昇	原材料費・人件費以外の経費の増加	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員の確保難 ・人件費の増加 ・民間需要の停滞
重要度 3 位	従業員の確保難	取引条件の悪化	<ul style="list-style-type: none"> ・製品（加工）単価の低下・上昇難 ・原材料費・人件費以外の経費の増加 ・原材料（仕入商品）価格の上昇 ・熟練技術者の確保難